



森のなかま

2025年 11月号

NO. 209 (継続354号)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp> 発行人 黒川 敏史
〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号 TEL046-297-0301・Fax046-297-0302

水生生物・土壌生物 調査研修会

日時：令和 7 年 7 月 21 日(月・祝) 9:30~15:30 晴れ

場所：やどりき水源林

参加インストラクター：13 名

井出①(L)、國弘⑭、牧石⑭、鈴木敦⑭、飛田⑮、石垣⑮、久次米⑯、三浦⑰、藤巻⑱
平出⑱、川島⑱、伊藤誠⑱、渡邊⑱

主催：やどりき事業部土壌水生班・普及啓発部会 共催

例年、5 月～6 月に行っていた水生生物調査研修会、土壌生物調査研修会ですが、今年は林道工事を行っていた関係で車でやどりき水源林に入ることができず、7 月にまとめて行うことになりました。

【午前】水生生物調査研修会

水生生物の観察は、水源林のつどい、森の案内人、NW活動、環境教室など、多くの場面で実施されています。今回、その指導者を養成することを目的に研修を行いました。今回の研修は、道具の準備、採取方法、生き物の見分け方、解説の仕方、道具の後片付けといった、実践に即した内容で実施しました。

今年の冬に行った調査では水生生物の数が少なく心配されましたが、今回の調査ではカゲロウ、カワゲラ、トビケラの幼虫など、主要な水生生物を確認することができました。特に、比較的大きなカジカ(下記写真)を数匹確認できたことは大きな成果でした。魚は川の生態系の頂点に位置するため、その存在は下位に多くの水生生物が生息していると考えられます。



【午後】土壌生物調査研修会

「森林は土づくりから」——生態系の基盤となるのは土壌です。間伐や枝打ちを行う目的の一つは、日光を地表まで届けて下層植物の成長を促すことにあります。これにより落葉が分解され、バクテリアや土壌生物の働きによって豊かな土壌になっていきます。

この研修では、土壌生物の採取方法や同定方法、自然の豊かさを判定する手法を習得することを目的に実施しました。やどりき水源林の各地点で土を採取し、土壌生物を調べ、土壌の豊かさを評価しました。その結果、今年は全体的に豊かさの指標が低い値となりました。高温や少雨の影響が表れているのでしょうか？



(記・写真 井出 恒夫①)

【森林技術部会主催】

間伐研修会①

日時：令和 7 年 7 月 27 日(日) 9:30～15:00 晴れ

場所：南足柄市 塚原ボランティアフィールド

講師：石井⑮（統括）、滝澤⑤、中澤⑯、三浦⑰、森本⑰

参加者：井出①、野牛⑧、上宮田⑪、稲野辺⑬、斉藤⑬、石垣⑮、大見⑮、佐々木⑮、小池⑰、
野口⑰、川口⑱、山口⑱、渡邊⑱

今回の研修会の目的は、間伐作業の安全確保、実技の再確認、インストラクターとしての技術と知識の向上を目指して行われました。また、県民参加での対応も確認しました。毎日焼けつくような猛暑が続く中での開催でしたが、森の中は、掛かり木必須のような密な木々に覆われており、木陰の作業がありがたかったです。



今回はインストラクター集団ということで、できるだけ切り易い木は翌週の県民参加に残し、今回は、やりにくい所を敢えて選びましょうという心意気でスタート。かなり荒れた急斜面の木や、岩で囲まれた木、混んでる所に挑戦してきました。お昼を挟んで 2, 3 本倒したグループが多かったようです。間伐した所は、青空がぽっかり見えるようになり、成果が感じられました。また、汗でぐっしょり濡れた服も同様に達成感をもたらしました。この時期の体調管理を身をもって学べたこともよかったと思います。

研修後の声では、皆さんの充実ぶりが溢れていたもので、ここに紹介します。「基本の流れをおさらいできてよかった。」「選木する理由だけでなく、しない理由や伐倒方向をみんなで考え、説明した。」「この人のこのやり方がいいな。と常に自分から得るようにしている。」「樹冠が繁っていたり、条件が悪い場所の木に敢えて挑戦して、また経験を増やすことができた。」「掛かり木処理の際にツルを切るのか、残すのか考えながら実践できた。」等。

私自身は、翌週同じ場所である県民参加での対応を確認することができて、とても心強い気持ちになりました。また、先輩達の知識技術に加え、仲間から学び合う姿勢と継続する熱意を見倣っていきたいと思いました。このような研修機会を企画準備していただきましてありがとうございました。



(記 川口 香奈⑱、写真 石井 裕⑮)

活動短 信

今回の掲載はR7年9月3日からR7年9月27日分です。寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。

11 月(霜月)(旧暦 10 月神無月)の
二十四節気、七十二候、鳥こよみ

立冬 11/7 小雪 11/22、山茶始開 (つばきはじめて
ひらく 11/7~11/11) 山茶花 (さざんか) の花が咲き
始める頃。童謡「たきび」に歌われる情景は、(焚き
火禁止のため) 都会では見られなくなりました。

鳥こよみ:モズの高鳴き、さて何日でしょうか? 正解
は75日。モズは秋に低地に降りてきて、「キー キ
チキチ〜」と鳴いて縄張りを主張します。この声から
75日で霜が降りるという意味で、秋の風物詩ですね。

活動短 信への投稿概略フォーマットと略語の説明

以下のフォーマットに沿って記載をお願いします。
本文と写真は作成せずに送付してください。送付先は最
終ページに掲載。

◆ 活動団体・活動名 等

日 日付:令和 x 年 x 月 x 日(曜日)時間、天気
場 場所 (例:相模原市緑区 長竹承継分収林)
参 参加者 人数
県 例 神奈川県 環境農政局 緑政部
水源環境保全課 水源の森林推進グループ
財 (公財)かながわトラストみどり財団、看 看護師
ス 例 小田原市森林組合XX様
例 川崎市公園緑地協会・XX様
イ インストラクター① (○数字:期) 研:研修枠
活 活動内容 例 午前 間伐、午後 クラフトと自然観察

◆ 県民参加の森林づくり 除伐作業

日 令和7年9月3日(水) 8:30~15:00 晴れ
場 箱根町仙石原(箱根小塚山緑地)
参 43名
財 豊丸様 古舘様 看 佃様
ス (公財)ポーラ美術館 太田様、藤本様
小田原市森林組合 城所様
イ L石垣⑮、齊藤⑧、野牛⑧、内野⑨、上田⑩、
小笠原⑩、上宮田⑪、山口⑪、江上⑬、小松⑭、
鈴木淳⑭、西岡⑭、野村⑭、小林⑯、鈴木圭⑯、
平出⑯
活 午前 ササ除伐 午後 箱根高原ホテル入浴

◆ 県民参加の森林づくり (間伐)

日 令和7年9月20日(土) 8:30 ~ 13:00 小雨
場 南足柄市塚原(塚原水源林)
参 45名
財 倉野様、古舘様、看 大谷様
ス 南足柄市森林組合 2名様
イ L牧石⑭、徳岡⑪、松本⑪、石川⑫、斉藤⑬、岩田⑭、
岡村⑯、祐谷⑯、三浦⑰、高谷⑰、野口⑰、三好⑰、
石川⑱、大川⑱、内田⑱、小林⑱
活 午前 間伐

◆ 活動団体 県立21世紀の森
「足柄滝巡りウォーク」

日 令和7年9月21日(日) 9:00~15:00 晴れ
場 県立21世紀の森~洒水の滝~夕日の滝
参 8名(大人)
県 21世紀の森 野村様 鈴木様
荒木様(マイクロバス運転手配)
イ L上宮田⑪ 内田⑰
活 午前:21世紀上部(テレビ塔)~洒水の滝へウォー
キング、午後:洒水の滝(バス移動)~夕日の滝周辺
ウォーキング

◆ プレス工業 様 社員向け森林ふれあい体験

日 令和7年9月26日(金) 10:00~14:30 快晴
場 県立21世紀の森
参 大人8名
県 水源環境保全課 藤原主査、星主事
イ L小国⑰、岡村⑯
活 午前:間伐、午後:自然観察

◆ 秦野たばこ祭

普及啓発部会の自主活動

日 令和7年9月27日(土) 11:30~15:30
曇りのち晴れ
令和7年9月28日(日) 9:30~15:10 晴れ
場 こども広場(横浜銀行秦野支店駐車場)
参 870名(9/27:300、9/28:570)
イ 9/27(土):L長尾⑪、内野⑨
9/28(日):L森本⑤、長尾⑪
活 緑の(羽根)募金、森林探訪ガイドブックの販売

かながわしずくちゃん Twitter は下記URLで見ることができます。



https://twitter.com/kanagawa_sizuku



人も自然も
いきいき 丹沢

丹沢の自然再生に取り組む 丹沢大山自然再生委員会のホームペ
ジをご覧ください。 <http://www.tanzawasaisei.jp/>

やどりき水源林ミニガイド

「やどりき森の案内人」

毎週土曜・日曜の午前10時と午後1時から「NPO法人かながわ森林インストラクターの会」会員が水源林をご案内します。やどりき水源林ゲート前までお越してください。詳しくはこちらからご覧ください。

<https://www.forest-kanagawa.jp/4field.html>

「やどりき水源林ニュース」

過去号は上記リンク先からご覧になれます。10月号は「暑く長い夏もようやく終わろうとしています。やどりきの紅葉はまだですが「小さい秋」を見つけました。」

やどりき水環境ニュース第226号 2025年10月 1/2

やどりき水源林ニュース

発行 ①自然かながわトラストふどり財団 編集 ②③法人 かながわ森林インストラクターの会
〒220-0073 横浜市西区南幸2-12-20 神奈川環境協会内
☎045-412-2255 URL: <http://www.kin.or.jp> E-mail: info@kin.or.jp
やどり会本部事務局の案内(定額)郵送の場合は「費用負担はありませ」
当道土曜・日曜の午前10時から午後1時頃、②③法人 かながわ森林インストラクターの会の会員が本道林をご案内します。
又は日本森林インストラクターの会(日本)の会員、会友、会客(ユース、ユニ、ユウ)が本道林の案内を行います。

暑く長い夏もようやく終わろうとしています。
 やどりきの紅葉はまだですが「小さい秋」を見つけました。



こんなキノコたちが獲られました。

森林探訪ガイドブック 好評販売中！

『森林探訪ガイドブック』は、かながわの自然を愛する森林インストラクターが力を結集して企画・編集したガイドブックです。

A5フルカラー52頁、動植物や史跡等の写真多数、地図、高低差図、ミニ動画ガイド付きです。**在庫がなくなり次第、販売終了**となりますので、お早めに購入申込みしてください。定価：相模川以西、相模川以东 各700円（税込）



やどりき水源林問合せ：(公財)かながわトラストみどり財団

TEL : 045-412-2255 / FAX : 045-412-2300

<https://ktm.or.jp/> Mail: midori@ktm.or.jp

かながわ森林インストラクターの会

<https://www.forest-kanagawa.jp/> Mail: kinst0981@friend.ocn.ne.jp

年間通読のお申し込み

「森のなかま」年間通読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。

郵便振替口座00230-0-2454 **かながわ森林インストラクターの会**
宛まで2000円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を
明記して下さい。振替用紙到着の翌月号から12回／1年間お届け致します。

森のなかまは過去号もご覧になれます

(ホームページ) <https://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01>
(HP担当：森本 利弘)

◇ 森のなかま原稿募集 ◇

会員読者の皆様から広く募集しています。原稿は随時受付けています。

＜広報全般お問い合わせ＞

河西 静夫
skasai0618@gmail.com

＜電子配信会員向け担当＞

小池 宗子
muneko-sakura@outlook.jp

＜本誌、別冊原稿送り先＞

河西 静夫
skasai0618@gmail.com

小国 一男
ka-oguni@ab.auone-net.jp

受信漏れを防ぐため本誌、別冊とも
上記に2名にお送りください



◇ 編集後記 ◇

★ 三陸沖でのスルメイカが豊漁とのニュースを耳にしました。(10月初)あくまでも昨年と比べてではありませんが、黒潮の大蛇行や北上の終息が要因とのこと。果たして長い不漁期からの回復の兆しになるのか、三陸沿岸でスルメイカ漁の恩恵を受け育った小生としては大いに気になるニュースです。(小国)

★ 秋も深まり、季節に追われるように、クラフト材料集めに大忙しです。どんぐりトトロ用にクヌギにマテバシイをたくさん拾ったり、もみじの小枝で書けない鉛筆を作ったりしています。来月には、友人と新宿御苑を散策予定で、今年の秋は、いつも以上に自然を満喫しています。（長尾）

★ 猛暑が去っても暫く暑い日が続いていましたが、ようやく涼しくなってホッとした頃、我が家の日陰の庭に金木犀の香りが漂いはじめました。近年、9月末と10月に二度咲き（または三度咲き！）することが多かったのですが、今年は猛暑のせいかわりに遅れて10月3週目に満開。そのお蔭か花つきは素晴らしく、香りも強い。夏の間に貯めたエネルギーを香りに変換して放出しているかのようで、まだ楽しめています。ところで先日、金木犀の季節に亡くなった母の命日をうっかり忘れていたことに気づいたのですが、これは花期が遅れたせいにしておこう。（河西）



編集人：河西 静夫
広報部：黒川 敏史、松本 保、
笠原 かずみ、長尾 晴子、小林 照夫、
大友 博道、小国 一男、小池 宗子、
森本 利弘
支援：大原 正志、吉田 郁夫

2025 年度 森林探訪

主催：NPO 法人 かながわ森林インストラクターの会

自然に親しみながら、森林を中心とした自然に対する理解を深めていただく、
森林インストラクターが案内する自然観察会です。

1. 円海山・大丸山から鎌倉へ

横浜のオアシス円海山エリアから、大丸山、天園を経て鎌倉宮に下ります。富士山の眺望を楽しみながら、気持ちの良い木漏れ日の中を歩きませんか。

開催日：2025 年 4 月 20 日(日) 申込締切：4 月 16 日

集合：9:00 JR 根岸線港南台駅改札前

解散：鎌倉宮 15:00 バスまたは徒歩で鎌倉駅へ

コース：港南台駅 - いっしんどう広場 - 大丸山 - 横浜自然観察の森
- 天園 - 瑞泉寺 - 鎌倉宮

歩行距離：10km 標高差 約 120 m



2. 津久井湖城山公園を巡る (共催：丹沢大山自然再生委員会)

戦国時代の山城「津久井城」の遺構や、豊かな自然と、津久井湖や周囲の山々の眺望が広がります。

開催日：2025 年 11 月 22 日(土) 申込締切：11 月 18 日

集合：9:00 JR 橋本駅改札前 バスで津久井湖観光センター前へ

解散：15:00 津久井湖観光センター前バス停 バスで橋本駅へ

コース：津久井湖城山公園 (城山山頂、パークセンターを含み散策)

歩行距離：6km 標高差：250m



3. 聖峰と塔の山緑地公園 (共催：丹沢大山自然再生委員会)

山と雑木林や、里地里山の自然を満喫し、保国寺や、相模国三ノ宮の比々多神社などを訪れます。

開催日：2026 年 1 月 31 日(土) 申込締切：1 月 27 日

集合：9:20 小田急伊勢原駅改札口 栗原行きバスに乗り保国寺前で下車

解散：15:00 神戸バス停 伊勢原駅か鶴巻温泉駅へ

コース：保国寺前 - 聖峰 - 塔の山緑地公園 - 比々多神社 - 神戸バス停

歩行距離：7km 標高差：340m



4. 高松山の眺望と早春の河津桜 (健脚コース)

丹沢低山ハイクです。爽やかなスギ、ヒノキの水源林、富士山と相模湾を一望できる絶景、
そして見頃の河津桜が楽しめます。

開催日：2026 年 3 月 1 日(日) 申込締切：2 月 25 日

集合：8:10 小田急新松田駅 8:25 発のバスで高松山入り口へ

解散：15:30 西平畑公園 徒歩またはバスで新松田駅へ

コース：高松山入口 - 高松山 - 第六天 - 最明寺史跡公園 - 西平畑公園

歩行距離 14km 標高差：650m



定員：50 名 (先着順) 参加費：1,500 円 (当日徴収) 雨天実施 (荒天中止)

持ち物：昼食、飲み物、雨具、シート、ハイキングのできる服装

<申し込み>：NPO 法人 かながわ森林インストラクターの会 自然観察部会

1) QR コードで (会の HP から)

2) e-mail：kanagawa_shizenkansatu@yahoo.co.jp へ

3) 〒243-0018 厚木市中町 2-13-14 サンシャインビル 604 へ往復はがきで
森林探訪名、参加者全員の氏名・年齢・電話番号・住所を記載してください。

お問い合わせ：TEL 080-8712-3804 担当 西岡

